

シラス卵稚仔分布調査情報 (No.2)

平成 28 年 5 月 18 日(水)に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査（水深 150m からの鉛直曳き）、ニューストーンネットによる仔稚魚採集調査（表層曳き）、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

【調査結果】

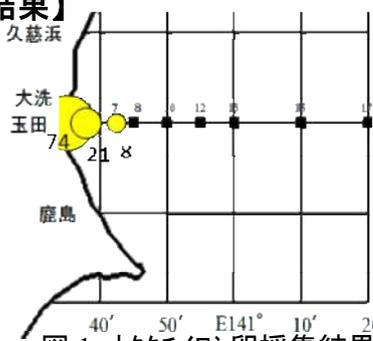


図1 カタクチイワシ卵採集結果

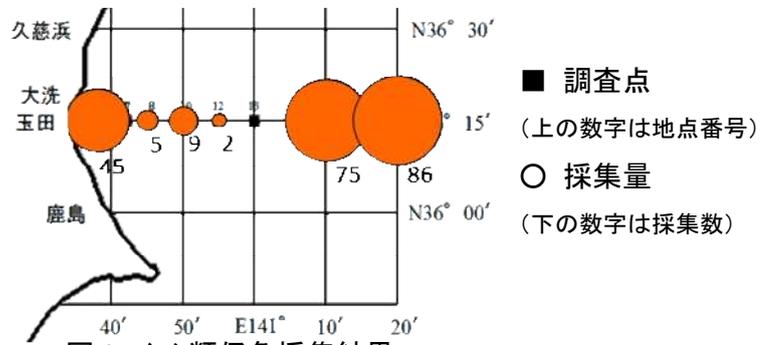


図2 イワシ類仔魚採集結果
 (マシラス, ウルメシラスを含む)

- 調査点
 (上の数字は地点番号)
- 採集量
 (下の数字は採集数)

表 調査点及び海洋観測結果

調査位置 (北緯36° 15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度		140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'
離岸距離(マイル)		1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
水深(m)		12	24	37	50	117	270	510	770	1000
観測結果	水温(°C) 0m	16.1	15.8	15.5	15.1	16.2	16.7	16.6	15.8	16.1
	50m	-	-	-	11.9	13.5	13.9	13.6	12.2	10.9
	100m	-	-	-	-	11.9	10.3	11.1	9.4	8.8
	流向(°)(10m)	0	187	180	185	234	180	177	179	133
	流速Kt(10m)	0.0	0.3	0.3	0.1	0.6	0.8	0.8	0.5	0.4

【まとめ】

調査ラインの水温は、表層で15~16°C、水深100m層では8~11°Cでした(上表)。また、潮流は全体的に逆潮傾向でしたが、140° 50' E以東では、沖を北上した黒潮系暖水が南下している様子が見られました(図3)。

カタクチイワシ卵、イワシ類仔魚の採集量は平年より少なく、卵は沿岸寄りに、仔魚は沿岸と沖に偏っていました(図1, 2)。

現在、シラス漁況は低調で推移していますが、4月下旬から続いた暖水波及がみられなくなったためと考えられます。今後の海況は、暖水波及はみられるものの一時的と予測されており、また現在の卵稚仔の分布状況から、今後もしばらくは不安定な漁況が続くと考えられます。



図3 NOAA衛星画像(5/18)